

2014年8月5日

公益財団法人 日本デザイン振興会

## 2014年度「東京ビジネスデザインアワード」 テーマ発表・デザイン提案募集開始

ものづくり中小企業からの出題テーマに対して、デザイン提案を公募



TOKYO DESIGN  
BUSINESS DESIGN AWARD

公益財団法人日本デザイン振興会（東京都港区）が運営を担う、東京都主催のデザインコンペティション「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のものづくり中小企業とデザイナーの協働による新ビジネス創出を目的とした事業で、本年度で3回目を迎えます。

中小企業の持つ「技術」「素材」をテーマに、新規用途開発を軸としたビジネス全体の提案をデザイナーから募り、優れた提案を選んで企業とマッチング、知財戦略や販路開拓に関する相談等、東京都の支援によりビジネスの実現化へと結びつけます。

このたび、2014年度のテーマ全12件を発表し、デザイナーからの提案応募の受付を開始しました。募集期間は8月5日から10月16日までです。

### 2014年度 東京ビジネスデザインアワード

■デザイン提案募集期間：2014年8月5日（火）～10月16日（木）

■応募費用：無料（※応募資料の制作実費のみ応募者負担）

■賞・賞金：最優秀賞（1点）賞金100万円 優秀賞（2点）賞金各20万円

テーマ賞1テーマにつき1点 ※本年度テーマ12件は別紙参照のこと

■主催：東京都 ■企画・運営：公益財団法人日本デザイン振興会

■東京ビジネスデザインアワード公式サイト：[www.tokyo-design.ne.jp/award](http://www.tokyo-design.ne.jp/award)

※詳細は上記公式サイト内の「募集要項」をご覧ください。

---

●一般からのお問い合わせ先：東京ビジネスデザインアワード事務局（日本デザイン振興会内）

担当：鈴木、劉（りゅう） 電話：03-6743-3777 E-mail：[tokyo-design@jidp.or.jp](mailto:tokyo-design@jidp.or.jp)

●報道関係のお問い合わせ先：共同PR株式会社（担当：宇津木、横山、中里）

電話：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380

---

## 2014年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(12件)

## 1 光学部品製造で培った“ガラスの精密接合加工技術”

カドミ光学工業株式会社(日野市)



産業・医療用の光学機器に組み込まれるガラス類の部品を製造してきたカドミ光学工業(株)による、高度な精密接合加工技術。単純な形状のガラスプレート以外にも、ミラーやレンズ、プリズムなど、様々な機能や形状の素材を扱うノウハウが豊富。特に素材の磨かれた面同士を接合する技術には定評があり、中でも接着剤を使用しない「オプティカルコンタクト方式」は接合した面が目視ではわからないほどの精巧さで美しい仕上がりを実現できる。

## 2 高精度な加工ができる“放電加工”と、あらゆるものを切断する“ウォータージェット加工”

株式会社エイチ・イー・ティー(国上市)



「放電加工」は電極を使用し、雷のように放電をおこなう加工で、通電する素材であればどんなものでも加工可能。一般の機械加工機では切除できない超硬材、難削材でも精密加工から曲面加工、球体加工ができる。

「ウォータージェット加工」は、水と研磨剤を使用しておこなう加工で、基本的にはどんな材料でも切断可能。材質的に非常に固いチタンやインコネル、カーボンや石など通常の機械では加工困難な素材にも対応する。

## 3 難しい曲線も自在にカットできる“ガラス鏡加工技術”

株式会社DCM(中央区)



従来は不可能だったガラス鏡の自由な曲線カットを実現したガラス鏡加工技術。

水に砂状の研磨剤を入れて高速噴射する「ウォータージェットカッター」で鏡の断面を綺麗に切る技術を研究し、特許を取得。技術的に難しかった工程を機械化することで量産が可能にし、コストや生産性も向上させた。

## 4 微かな電力で動かせる“振り子運動の機構設計技術”

国際ディスプレイ工業株式会社(文京区)



ソーラーパネルや乾電池のごく微かな電力によって、振り子体を前後・左右・上下・ランダム方向に揺らしたり、回転させたりする動きの構造体と、その自己起動回路の設計技術。

モーターやギアを組まないため動きが無音、また省電力設計のため、約10~100 $\mu$ A(マイクロアンペア)の電力で動かすことができる。防水加工を施せば、水中で動かすことも可能。現在は玩具や動く広告ツールとして使われている。

## 5 優れた機構設計とオーダーメイド対応の強みを活かした“薄型钣金加工技術”

日本フォームサービス株式会社(江東区)



緻密な機構設計を活かした薄型钣金加工技術。近年開発を重ねている映像ディスプレイの取り付け金具は、大画面ディスプレイを施工するための金具として、画面同士をつなぎ合わせる際のずれを補正したり、メンテナンス性を向上させるなど、優れた機構設計と高度な钣金技術の組み合わせにより完成させている。

機構設計から、加工、溶接、塗装、組み立てまでおこなえる人材と設備を備えており、小ロットでのオーダーメイド生産も可能。

## 6 多種多様な素材の特性を活かした“バフホイール(布製研磨用具)製造技術”

有限会社中央バフ製作所(荒川区)



バフホイールは産業用の研磨に使われる道具で、主に布やフェルト素材で作られている。磨く対象物の素材や使う職人によってバフホイールの素材や製造方法を変える多品種少量生産に対応しており、薄手から厚手まで種類豊富な素材のストックを持つ。

各素材に合わせたきめ細かい技術とノウハウが集積しており、熟練の職人による高度な布加工技術のほか、含浸の可能な設備などを有する。

### 7 省電力でゆっくり回転する“屋内用大型円筒のぼり”

株式会社オオニシ（台東区）

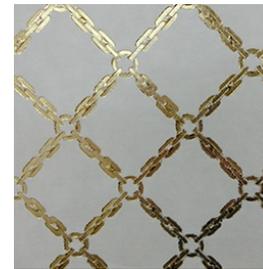


静かにゆっくり回転しながら宣伝をおこなう屋内用大型円筒のぼり。旗の上部に小型低速回転モーターがついており、周りのバナー部分が回転する。モーターの電源は単一電池1個で約2ヶ月間回転する省電力設計で、かつノイズ音を抑えた静音設計。

光センサーで暗くなると自動的に回転が止まる。バナー部分は差替えができ、シーズンやイベントごとに取り替えが可能。光が生地を透過するため、照明としても使用できる。

### 8 長尺に切れ目なくプリントできる“連続箔押し技術”

株式会社村田金箔（文京区）

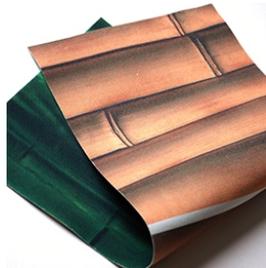


ロール紙等の長尺素材に切れ目なく連続した模様を表現できる箔押し技術。被転写物の素材は問わず、紙だけでなくフィルムや布なども可能。ロール紙であれば1m程度の幅で長さは際限なく箔押しができる。

箔押しは、フィルムにコーティングされた色彩を素材に熱圧着する方法を用いており、最大の特徴は、金属の光沢感を素材に表現できる点と、溶剤等を使わないため箔押しをすれば加飾が完成する点である。

### 9 生地の両面に印刷できる、精密で鮮やかな“昇華染色技術”

楽ブリ株式会社（中央区）



昇華染色技術は、特別な転写紙とポリエステル生地を重ねて加熱・加圧をおこなうことで、気化したインクを繊維に分子結合させるユニークな印刷方法。これにより、通常の染色とは違って生地の両面に異なる絵柄をプリントすることができる。

分子レベルでの染色と高度な職人技術により、緻密なデザインにも対応でき、細い線も鮮明にプリントできる。また、鮮やかに色彩を表現できる点もこの印刷の特徴で、写真や細かい色彩表現にも向いている。

### 10 レーザー加工とUV厚盛印刷による“立体型印刷加工技術”

株式会社トミナガ（荒川区）



精密なカットと深堀彫刻が可能な「レーザー加工」と、インク厚盛に特化した「UVインクジェット印刷」。どちらも製版が不要、小ロット対応が可能で、様々な素材に加工ができる。

「レーザー加工」は、繊細で美しい深堀彫刻と、歯型では抜けないような複雑でシャープなカットを実現できる。

「UVインクジェット印刷」は、インクを盛ることで凹凸形状を作り出し、その上に濃度と彩度が高いプロセスインクを吐出して、立体感のあるプリントを生み出す。

### 11 スマートフォンからもデータの書き換えができる“表示機能付き電子タグ”

株式会社アイオイ・システム（大田区）



表示機能付き薄型RFID(※)タグ。ICチップに書き込まれたデータがカード本体に表示され、ネットワーク上で様々な情報を共有できる。省電力設計かつ非接触給電方式を採用しているため、生産現場での電子かんばん、物流現場でのコンテナタグ、回転寿司店での精算伝票などとして使用されている。

※RFID(Radio Frequency Identifier)とは、ICタグに記憶された個別情報を無線通信によって読み書きする自動認識システム。

### 12 センサー技術と組み合わせ可能な、ミラー効果を持った“特殊ガラス”

合同会社時空（港区）



ミラー効果を持ちながら、タッチセンサー等各種センサー技術との融合を実現した特殊ガラス。従来のハーフミラーやマジックミラーにはないインタラクティブ性を最先端技術により盛り込んでおり、光の透過損失を最小限に抑えることで、高い映像クオリティを確保。

取扱いは通常のガラスに準じるという簡便性を兼ね備え、タッチ機能はショーウィンドウ越しにも機能するため、大掛かりな建築工事無しでデジタルサイネージを実現することもできる。

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードのオフィシャルサイトをご覧ください。

<http://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

# Press Release



## 【補足資料】

### ● デザイナー向け提案応募説明会開催

日時：2014年9月3日（水）19:00～21:00

会場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（東京ミッドタウン・タワー5F）

内容：応募説明、テーマ企業各社によるテーマ内容の説明

お申し込みは事務局（[tokyo-design@jidp.or.jp](mailto:tokyo-design@jidp.or.jp)）まで

### ● 参考：これまでの東京ビジネスデザインアワード 商品化事例

2012年度（第1回）テーマ賞

塗って剥がせる絵の具「マスキングカラー」 [www.maskingcolor.com](http://www.maskingcolor.com)

太洋塗料株式会社（大田区）× 小関隆一



2013年度（第2回）最優秀賞

曲げパイプ技術を使った玩具「pipegram」 [www.pipegram.com](http://www.pipegram.com)

武州工業株式会社（青梅市）× 小関隆一



2013年度（第2回）優秀賞

木地挽きと寄木の食器ブランド「ひきよせ」 [www.la-luz.co.jp](http://www.la-luz.co.jp)

株式会社ラ・ルース（渋谷区）× 山田佳一朗



2013年度（第2回）テーマ賞

点字印刷をインテリアに展開「Twinkle Piece」 [www.twinklepiece.com](http://www.twinklepiece.com)

株式会社新興グランド社（北区）× MEDIUM



---

● 一般からのお問い合わせ先： 東京ビジネスデザインアワード事務局（日本デザイン振興会 内）

担当：鈴木、劉（りゅう） 電話：03-6743-3777 E-mail：[tokyo-design@jidp.or.jp](mailto:tokyo-design@jidp.or.jp)

● 報道関係のお問い合わせ先： 共同PR株式会社（担当：宇津木、横山、中里）

電話：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380

---